

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	特発性側弯症手術に対するナビゲーションを用いた椎弓根スクリューの逸脱についての検討		
1. 研究の目的と方法	近年、特発性側弯症手術において椎弓根スクリューを用いて手術を行っています。そのスクリュー周囲には胸部大動脈や肺など重要臓器があることや、特発性側弯症の患者さんの椎弓根は細いことが知られています。そのため正確にスクリューを刺入するため、我々はナビゲーションを用いて手術を行っております。特発性側弯症に対するナビゲーションを用いた刺入精度・逸脱に関する報告は未だ多くないため、これを明らかにすることが研究の目的です。 患者さんのCT画像をもとに、スクリューの逸脱の有無で逸脱しやすい椎体の特徴や患者さんの特徴を比較検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで		
3. 対象となる方等	2019年7月から2024年7月までの間に東京慈恵会医科大学附属病院で特発性側弯症に対して手術加療を受けた方(10歳～25歳以下)		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（画像検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 整形外科学講座
		氏名	斎藤充
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 篠原光	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025年5月頃～		

【問い合わせ先】

機関名：東京慈恵会医科大学 整形外科学講座

研究責任者：教授 齋藤 充（さいとう みつる）

窓口担当者：助教 勝見 俊介（かつみ しゅんすけ）

電話番号：03-3433-1111（内線 3441）

対応時間：平日 9：00 ～ 17：00